

宣 言

我々の故郷である択捉島、国後島、色丹島及び歯舞群島は、父祖伝来の地として我々が受け継いできた我が国固有の領土である。

我々元島民は、ソ連の不法占拠によって、生まれ育った島々を強制的に追われた。以来六十有余年、幾多の苦難と闘いながら、再び故郷に帰ることを一心に願い、北方領土返還要求運動の先頭に立って、その使命を果たしてきた。

我々は、自由に故郷を訪れることができない。この間、既に一万人以上が他界し、生存している者も平均年齢が七十九歳を超えている。領土問題の解決にこれ以上歳月を費やすことは許されない。

政府は、「北方四島の帰属の問題を解決して平和条約を締結する」という一貫した立場を堅持し、日露間での外交交渉を行ってきたが、今なお具体的な進展が見られないことに怒りを禁じ得ない。

我々は政府に対し、一刻も早い領土問題の解決と平和条約の締結に向け、具体的かつ実質的な成果の見える外交交渉を加速させることを強く求める。

本年二月の日露首脳会談でプーチン大統領が秋に訪日することが予定されている。これを機に領土問題の解決に向け交渉が進展することを強く望むものである。

本日、この総会において、元島民及び後継者の総意をもって「北方四島の一括返還の実現」を求め、今後とも一丸となって北方領土返還要求運動に邁進することを誓い、右宣言する。

平成二十六年五月二十六日

平成二十六年 公益社団法人 千島歯舞諸島居住者連盟 通常総会